

第2期旭市総合戦略の推進体制 について

資料5

総合戦略及び人口ビジョン

急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口流出を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保し地方創生を図るため、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、平成27年度から平成31年度までを計画期間とした第1期旭市総合戦略を平成28年2月に策定した。

地方創生は、中長期的視点に立って取り組む必要があり、第2期総合戦略の策定に当たっては、第1期で根付いた地方創生の意識や取り組みを令和2年度以降も継続し、現行の枠組みを引き続き維持して、地方創生のより一層の充実・強化に取り組んで行くものとする。

人口ビジョンについては、第1期で設定した目標値を引き続き採用し、令和42年(2060年)における旭市の総人口を48,000人とする。

旭市総合戦略調整会議 (内部組織) 全4回

- 各課の副課長等を構成員として、
- 旭市人口ビジョンの調整
- 旭市総合戦略策定に係る調査・研究
- 施策の提案・調整などを行う。

連携・協力

旭市総合戦略推進委員会 (外部組織) 全4回開催予定

旭市人口ビジョンの調整・旭市総合戦略の策定に当たり、幅広い年齢層からなる産官学労言(産業界、行政機関、教育機関、金融機関、労働団体、メディア)等で構成する推進組織として、旭市総合戦略推進委員会を設置。

今後の予定

○第2期旭市総合戦略及び旭市人口ビジョン

- ・計画期間: 令和2年度～令和6年度
- 令和元年度中に策定

＜進捗状況＞

現状は、人口ビジョンの調整、骨子案の作成に向け、準備を進めている。

これらのデータを利用して、旭市総合戦略調整会議及び旭市総合戦略推進委員会において旭市に必要な施策等の洗い出し及び新規事業の創出を行い、総合戦略の策定を行う。

○旭市議会への報告・意見聴取: 2回実施予定

○市民アンケート: 7月上旬実施済、8月下旬とりまとめ予定

○庁内各課ヒアリング: 7月下旬から随時実施予定

○パブリックコメント: 1回実施予定

生涯活躍のまち構想 ＜重点戦略＞

平成28年2月に策定した第1期旭市総合戦略において、重点戦略として位置付け、実現にむけ取り組んでいる。

本構想に基づく事業は、旭市の宝・特性といえる旭中央病院を核とし、連携拠点である道の駅 季楽里あさひを一体的にとらえて構想エリアとし、元気な高齢者を中心とする都市住民の誘致と若年世代の流出抑制と流入促進、及び仕事作りを実現させ、本市全体の活性化につなげるための拠点として「新しいまちづくり」を行う。